

伝統芸能（神楽）への参加



Yさん 特別支援学校・教諭・保健体育科・経験年数6年

地元である志布志市志布志町田之浦の「田之浦山宮神社神楽保存会」に所属しています。舞手として参加し、ダゴ祭りや2年に一度行われる「夜神楽」で神舞を奉納しています。また、同日に行われる子ども神楽の奉納の際には、子どもたちに着付けをしたり、会場の準備をしたりするなど運営にも携わっています。さらにSNSで「田之浦山宮神社神楽保存会公式ページ」も開設し、神楽や田之浦の魅力を定期的に発信しています。

その取り組みはどのくらいの頻度で実施していますか。また、どのくらいの期間継続していますか。

神楽保存会に加入したのは6歳のころで、仕事によっては参加できないこともありますが、年に2から3回の頻度で関わっています。SNSでの情報は発信は月2から3回更新しています。

その取り組みをはじめたきっかけを教えてください。

元々父や兄が神楽保存会に所属していたため、自然とその中に入っていました。舞がかっこよくて、小さい頃から最前列で見ていたの

が思い出です。

その取り組みにまつわるエピソードをできるだけ詳しく教えてください。

楽しいことしかありません！地域の伝統を自分がつないでいると自信をもって言えます！「今回の舞もかっこよかったよ！」とか「いつも田之浦に帰ってきてくれてありがとう。」などの言葉掛けをもらうことも多く、自信や次も地元に帰って貢献したいという気持ちが生まれてきます。また、先輩（師匠）の舞がとても好きでずっと見てきたので、いつかの舞に近づくことができるように精進していきたいです。

あなたにとって、その取り組みはどんな時間ですか？ また、その時間があなたの人生に変化やプラスになったことがあったら教えてください。

平日は仕事に日々追われている中で、地元に戻ると自然と心がリセットされていきます。また、地域の方と神楽を通して交流することで、自分を応援してくれる人がたくさんいることに気付かされます。支えてもらっていることを感じるため、人生にとって後押しやプラスにしかありません！

仕事との両立で心掛けていることはありますか？ 特に仕事以外の時間をどのように作っていますか。また、その時間を作るコツや工夫していることを教えてください。

まずは仕事が第一ですので、勤務時間はそこを全力で取り組むことが重要だと思います。「やりきった！」と思えるからこそ仕事以外のときに「休んでいる！」や「充実している！」と感ずることができると思います。

今後、仕事以外で挑戦したいこと、勉強してみたいこと、やってみたいこと、目標などがありましたら教えてください。

私は現在、陸上競技で県のスタッフとしての活動もしています。まずは専門である走り高跳びのレベルアップができるように練習会や合宿等の機会を設定していきたいです。また、自己研鑽に励み、様々な先生方の指導法を参考に、指導観や指導内容もブラッシュアップしていきたいです。

これから教職員になる方に向けてメッセージをお願いします。

現在、メディアでは「働き方改革」や「ブラックな職場」など、マイナスイメージが先行していると思います。しかし、教師の強みは「創造を膨らませながら（子どもたちと将来を一緒に考えながら）」仕事ができることだと思います。「この子の思いを実現したい！」「この子は〇〇で輝ける！」など一緒に夢を見ることのできる職場だと思っています。一緒に夢を見ましょう！！

仲間の先生方に向けてもメッセージをお願いします。

この文章を読んで、「土日も動いて…」と思うかもしれませんが、私にとってはそれがリフレッシュになり、月曜日からの活力になっています。土日が充実すると、日頃の仕事もやる気をもって取り組むことができます。もちろん家庭も大切にしています。

また、家族も応援や理解をしてくれているので、できていることだと思います。家庭の時間を第一にしながら「自分のできる範囲でやる」ことが自分にも家族にも負担のかからない余暇につながっていると思います。